

創立 1980年10月8日



ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0940 堺市堺区車之町西2丁1番30号 ポピア南海3階302号

Tel (072) 223-2300 番 Fax (072) 223-5005 番

URL : <https://www.sakai-kita.jp/>

E-mail : snrc@jasmine.ocn.ne.jp

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 南海グリラ 天兆閣別館 4階「ローズ」 Tel:(072)222-0131 番 (代表)

ガバナー(第2640地区) : 谷 宗光

ガバナー事務所 URL : <http://rid2640g.com/tani/>

E-mail : tani@rid2640g.com

会長: 笹山悦夫 幹事: 中田 学 広報委員長: 那須宗弘 編集者: 那須宗弘



四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会

2023年10月6日(金)第2012回

卓話 「私の卓話」

卓話者 米山奨学生 イリヤ アイシャ 伊力亜 艾山様

(母国: 中国・世話クラブ堺おおいずみRC)

紹介者 米澤 邦明 米山奨学委員長

今週の歌 「君が代」「奉仕の理想」

「バースデーソング」

お客様の紹介・出席報告・

会長の時間・委員会報告・

幹事報告・SAA報告

○会員・奥様誕生祝い(10月度)

平野祥之会員 堀畑好秀会員

三上尚嘉会員 嶽盛和三会員

北村勝博会員 吉村博勝会員

城岡キヌ子様 奥原智子様

濱口良子様

○結婚記念祝い(10月度)

該当者なし

前回の例会

2023年9月22日(金)第2011回

谷 宗光ガバナー公式訪問

卓話者 国際ロータリー第2640地区

ガバナー 谷 宗光様

今週の歌 「奉仕の理想」

「見上げてごらん夜の星を」

お客様の紹介・出席報告・会長の時間・

委員会報告・幹事報告・SAA報告

○皆出席表彰(9月)

坂田兼則会員(第17回)

<9月22日(金)の出席報告>

会員数	29名
出席会員	15名
欠席会員	14名
準会員	1名
ゲスト	0名
ビジター	3名

次回の例会

2023年10月13日(金)第2013回

卓話 「堺市の防災について」

卓話者 堺市 危機管理室

防災課 課長 小山 健太郎 様

室長 久保 里花 様

紹介者 國井 豊 会員



世界に希望を生み出そう

2023-24年度 国際ロータリーのテーマ

「世界に希望を生み出そう」

国際ロータリー会長 ゴードンRマッキナリー(スコットランド/サウス・クイーンズフェリーRC)

卓 話

「思いやりあふれる！
明るく！元気なロータリーへ！」

国際ロータリー第 2640 地区
ガバナー 谷 宗光 様



2019 年中国武漢で発生したコロナウイルスは、パンデミックと化し、瞬く間に全世界を席卷し、人類を不安の渦へと巻きこんでいきました。あれから三年、長く辛い戦いは、今、春を向

かえやつと明るい兆しが見えてきました。

2023 年 2640 地区はロータリーの基本に立ち返り奉仕の理想に集いし友は、友情を深めお互いの事をもっと理解し合い、ロータリーの基本は、ロータリアン一人一人であり各々のクラブであると言う事を再認識して頂き、それぞれのクラブが、ロータリーの奉仕の理想に基づき、今の時代に即したアップデートをした上で活動を展開して頂きたいと思えます。クラブに息吹を吹き込み、クラブを活性化させることによって、クラブが元気になり一人一人のロータリアンが輝き、それぞれの地域でそれぞれのロータリークラブが明るく楽しい団体とし認められます。そして地域で、なくてはならない存在になるのです。ロータリーには、世界の先人達が築き、脈々と紡がれて来た、100 年以上の素晴らしい歴史と伝統があります。が、しかしそれを踏襲しているだけでは、輝きは薄れ世間からは、地域の旦那衆、御上さん達の集まりとしか見られていないのでは、ないでしょうか？ゴードン R マッキナリー RI 会長も仰っています。

「継続とは、以前のリーダーたちの良いアイデアを前進させることを意味します。」と。これは今の時代にアップデートをして継いでいきましょうと言う事です。そして詩人マヤ・アンジェロウの次の言葉からインスピレーションを得なさいと。

「続けましょう・自分らしくある為に・思いやりある行いで・不親切な世界をあっと言わせる為に」まさしく私達が、今一度、心に手を当てて、純粋な気持ちで他を思いやり、地域を思いやる、自分自身に関わるすべての事に思いやりの心があれば、人と人との小競り合いが無くなり、世界から紛争や戦争は無くなるのでは無いでしょうか。

会長の時間

「東日本大震災『釜石の奇跡』について」
会長 笹山 悦夫



今年は、関東大震災（1923 年 9 月 1 日）100 周年に当たりますが、私たちは現在、まさに南海トラフ巨大地震がいつ起こっても不思議ではない状況にあります。

12 年前に発生した東日本大震災（M9）は、死者約 15,000 人、行方不明者約 7,500 人という世界的にも例がない甚大な被害を及ぼしました。この東日本大震災の津波による壊滅的な被害状況の中で起こった「釜石の奇跡」についてご紹介したいと思います。

岩手県の釜石市。大槌（おおつち）湾に面した鶴住居（うのすまい）地区。この地区も、巨大津波で壊滅状態となりました。しかし、この地区の鶴住居（うのすまい）小学校と釜石東中学校にいた小・中学生 570 人は、中学生が小学生を助けながら、次々と襲ってくる津波から逃れて全員無事に避難し、多くの人命を救うことができたという出来事です。これが「釜石の奇跡」とよばれています。

では、小中学生の児童・生徒は、どのようにして無事に避難することができたのでしょうか。

(1) 地震直後、鶴住居（うのすまい）小学校では、まず児童が①校舎の 3 階に集まりました。ところが、3 階に集まり始めたころ、

(2) 隣の釜石東中学校では生徒が校庭に駆け出していました。

(3) これを見た小学校の児童は、日ごろから釜石東中学校と行っていた合同訓練を思い出し、自らの判断で校庭に駆け出しました。

その後、児童・生徒は約 500m 先の高台にある②グループホーム「ございしょの里」まで避難しましたが、建物の裏の崖が崩れるのを見た生徒が教師にもっと高いところに避難しようと訴え、

(4) さらに 500m 先の高台の③介護福祉施設「やまざき機能訓練デイサービスセンター」まで避難しました。

(5) このあと、轟音と共に「津波が堤防を越えた、逃げろ」という消防団員や地域の人の叫び声に反応し、子どもたちはさらに高台の④石材店までかけのぼりました。

(6) このあと学校や避難所、まちは次々と津波にのまれてしまいましたが、児童・生徒は全員、無事に避難することができました。すべてが避難開始から 30 分足らずの出来事でした。

「釜石の奇跡」は、子どもたちが、単に運が良かったからというのではなく、この地域で

日ごろから行われていた防災教育を学んだ子どもたちが自分たちが普段から行っている行動を当たり前実践した結果が起こしたものだということ。

この地区の小中学生は、津波の脅威を学ぶため年間5～10数時間の防災授業を受けていました。また、年に1回、鶴住居（うのすまい）小学校と釜石東中学校の合同訓練が実施され、「小学生を先導する」「まず高台に逃げる」という教えも徹底されていました。

防災教育には2つのことが大切だと言われています。①「わがこと意識高める」、②「冷静さを保つ」訓練をすることです。人間は大きなショックをけると「見当識」を失い、「今何を、どうすればいいのか」まったく分からなくなると言われます。そのためには定期的な避難訓練と防災教育が欠かせないということです。今年度に予定されている「堺市総合防災センター」の巨大地震体験を含む体験型防災学習が、ロータリーの職業奉仕や地域貢献活動のきっかけになればと思います。

委員会報告

社会奉仕委員会

「秋の交通安全運動キャンペーン」

社会奉仕委員長 坂田 兼則



令和5年9月23日（土）、「秋の交通安全運動キャンペーン」が堺市役所前の「Mina さかい広場」で開催されました。

開始時間の10:30ごろは薄曇りの中、暑くもなく多数の市民の方々が参加され、堺警察署の方の司会進行でイベントが始まりました。

最初に「堺太鼓」、そして「堺シュライクス・チアリーディング」によるチアダンス。「堺太鼓」は子供から大人までの男女による和太鼓の演奏、又チアダンスは関西独立野球チーム「堺シュライクス」を応援する8名のチアガールによる楽しいダンスです。

会場には、300人以上の市民が参加され、「白バイ・サイドカー」や消防のレスキュー車の展示があり、又ゆるキャラの「さかいまもる」も登場し、楽しいひと時を過ごしました。

当クラブからは、笹山会長、中田幹事、堀畑会員、池田会員、國井会員、城岡会員、北側会員、嶽盛会員、塩見会員、辰会員、小西準会員、坂田の12名が参加し、國井会員は、奥様・娘さん・お孫さんと参加いただき、中田会員も奥様との参加でした。イベント後、チラシの配布

を全員で行い12時には無事終了しました。

参加いただきました会員・会員家族の皆様有り難うございました。



幹事報告

(1) 配布物

・週報 ・アッセンブリー資料

(2) 7月度秋田豪雨災害義援金について報告

当クラブでは義援金は直接被災地に届ける意向のため、綿谷会員に窓口になっていただき、以前交流のあった秋田中央ロータリークラブへ当クラブより10万円の義援金を9月5日に送金し、役立てていただくことにいたしました。

そして9月22日（金）、秋田中央RCのガバナー公式訪問においてRI第2540地区の淡路ガバナーへ贈呈していただいたそうです。

淡路ガバナーから直接事務局へお礼の電話も頂戴しました。

秋田市は7月の災害の後、9月に入り再び豪雨に見舞われ、秋田中央RCのメンバーの方々も急遽復旧のお仕事で参加が少ない状況での公式訪問だったそうです。

「このような状況の中、貴クラブから頂戴しました義援金は本当に有難く心より御礼申し上げます。貴クラブ会員様へよろしくお伝えくださいますようお願い申し上げます。」とお礼と贈呈式とクラブ集合写真をいただきました。

大変な中、突然の申し出にもかかわらず、我々の意向を汲んでいただき、ご対応くださった秋田中央RCのメンバーの皆さんに感謝したいと思います。



左：R第2540地区 淡路ガバナー
右：辻匡人 秋田中央RC会長



(4) 相談役会 議事録

日時：令和5年9月29日（金）18：30～
場所：雄ちゃん（堺市堺区戎之町東5-3-8）
出席メンバー：池田・城岡・坂田・辰・塩見・
笹山・嶽盛・田口・吉村・鶴・中田

議案

1. ガバナーの件 城岡会員より説明
 - ・ガバナーの選出は9月末までなので、今回は見送る。
 - ・いずれガバナーを出せるよう、地区役員に積極的に参加するように努力する。



秋田中央RCのメンバーの皆様（ガバナー公式訪問にて）
(3) 堺警察署より交通安全功労者〈団体〉

の受賞の報告

9月26日（火）14：00より堺警察署6階にて、標記の授賞式が行われ、笹山会長所用のため、私中田が出席してまいりました。この賞は長年交通安全運動キャンペーンに参加し、地域の方々啓発活動を行ってきたことに対し、表彰状と盾をいただきました。



SAA 報告

- 全出席会員 谷宗光ガバナーようこそお越し下さいました。よろしくご指導願います。
- 池田茂雄会員 谷ガバナー、高松ガバナー補佐、ようこそお越し下さいました。ありがとうございます。
- 那須宗弘会員 谷宗光ガバナー、高松慶暢ガバナー補佐様ようこそお越し下さいました。本日はよろしくお願い致します。

合計24,000円

- ◆米山特別寄付・・・嶽盛和三会員
- ◆ロータリー財団寄付・・・嶽盛和三会員

